

## **メタバースを活用した文化観光の DX 推進に関する連携協定を締結 ～with コロナ（ニューノーマル）に向けた観光分野のデジタル化を通じ、地域活性化の推進で連携～**

西日本電信電話株式会社 東海支店（執行役員 東海支店長：安部 真弘 以下、NTT西日本）は、観光分野において、メタバース※1やXR技術※2を活用して地域の課題解決を図る「デジタルトランスフォーメーション（DX）」を推進し、地域の観光課題の解決に連携して取り組むことを目的として、岡崎市（市長：中根 康浩）・株式会社一旗（代表取締役：東山 武明 以下、一旗）と「文化観光の DX 推進に関する連携協定」を本日締結しました。

※1 「メタ（meta）」が「超越した」「高次の」、「バース」が「ユニバース（universe/宇宙）」の2単語を組み合わせた造語。インターネット上の仮想空間のことで、現実世界に身体がありながらも、仮想空間で利用者が自由に行動できる空間のこと。

※2 「クロスリアリティ」の略。VR・AR・MRなどの先端技術の総称

### **1. 取り組み背景**

with コロナの新たな生活様式が急速に広がりを見せる一方、観光分野においても、デジタル化・オンライン化の流れが加速しており、XR技術の観光分野における活用への期待がますます高まっています。

岡崎市は、歴史・文化的な観光資源である「岡崎城」や「大樹寺」を抱え、近年では、東岡崎駅前の乙川リバーフロント整備事業の進展により、「徳川家康公像設置」のほか、乙川リバーフロントエリアの公共空間を活用した公民連携の取り組みを進めてまいりました。天下の道、桜城橋の周辺整備などのプロジェクトが進行しているほか、市域全体の観光資源の活用など歴史文化にとどまらない多様な魅力づくりに取り組んでいます。

一旗は、「岡崎城天守閣 プロジェクションマッピング」「徳川将軍家菩提寺 成道山大樹寺 プロジェクションマッピング・デジタルアートナイト拝観」「桜城橋×Rally Japan プロジェクションマッピング」をプロデュースするなど、岡崎市の観光資源や文化資源とデジタル技術をいかした地域活性化に取り組んでまいりました。また、「岡崎城 1645VR」「大樹寺 重要文化財 大方丈障壁画 VR」などVRコンテンツの企画制作も手掛けています。

NTT西日本は、社会を取り巻く環境変化がもたらす様々な社会的課題に対して、「ソーシャル ICT パイオニア」として、これまで培ってきた経験や先進技術をいかし、ICTの力で地域課題の解決や活性化に取り組んでいます。2019年～2021年の岡崎市におけるスマートシティモデルプロジェクト（国土交通省事業）では、人流データをはじめとするまちのデータを活用した実証実験と実現性検証を行うことで、楽しい・快適・安全なウォークアブルでスマートなまちの実現を促進してまいりました。

今回、岡崎市、一旗、NTT西日本の三者がより一層連携し、岡崎市が有する観光資源・文化資源と先進技術を融合させた新たな文化観光の在り方を見だし、観光分野のDXを推進することにより、地域の活性化とブランド力を向上させ、持続可能な観光地経営をめざしていきます。

## 2. 協定の主な内容および役割分担

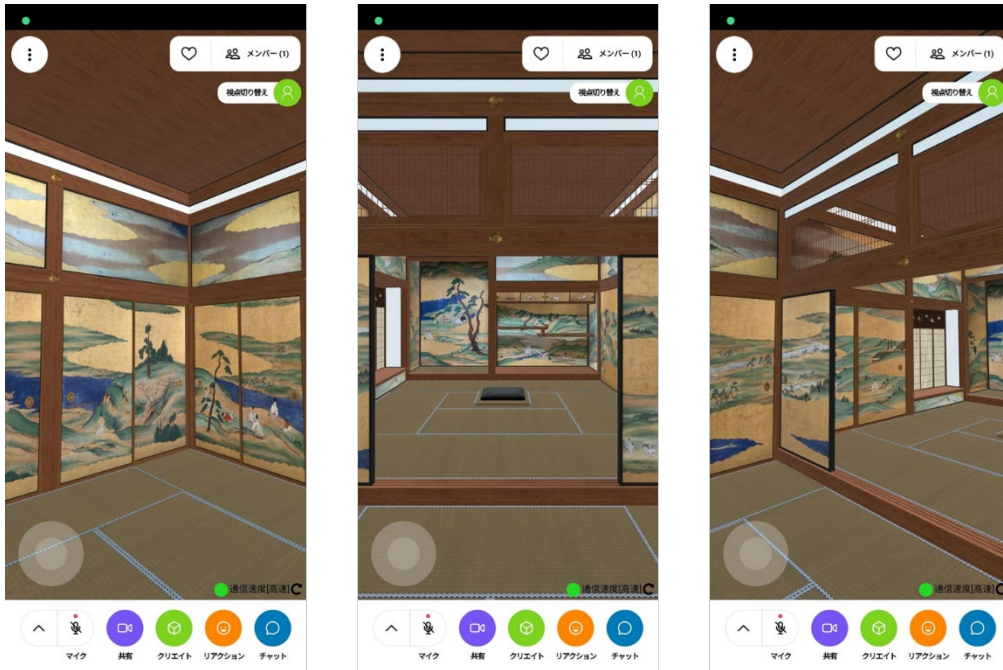
2023年大河ドラマおよびアフターコロナを見据えた、デジタル技術を活用した文化観光の推進

※具体的な取組内容及び実施方法につきましては、協定者で協議の上、決定いたします

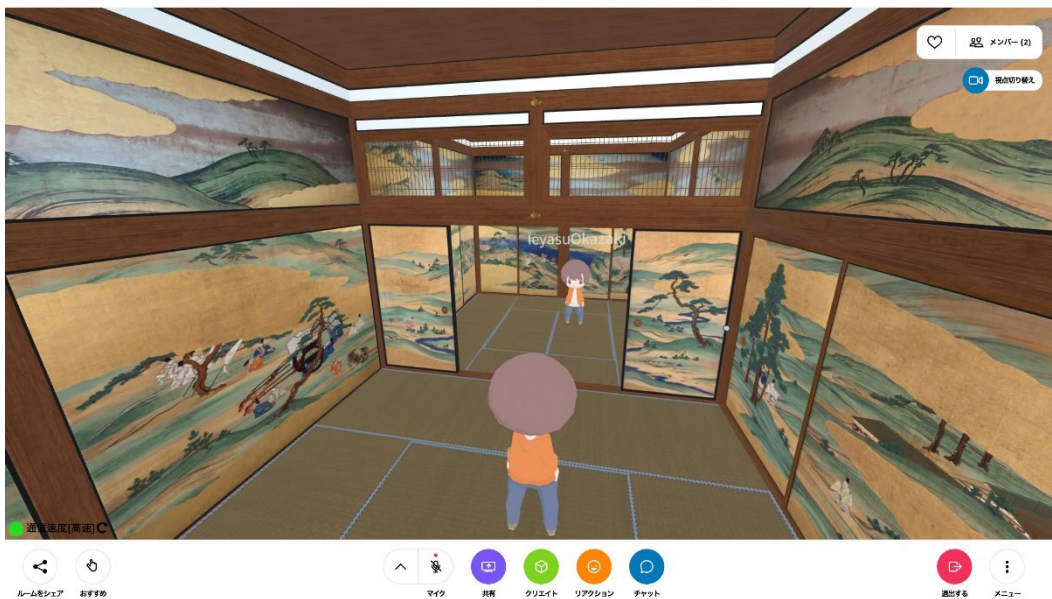
- (1) 岡崎市は、岡崎市内の観光資源の活用協力する。
- (2) 一旗は、一旗の事業活動により創出した岡崎市の文化資源・観光資源のXRコンテンツを提供し、メタバース※2において活用する。
- (3) NTT 西日本は、日本電信電話株式会社（NTT）が提供するXR空間プラットフォーム「DOOR（ドア）」※3を活用したメタバースの構築および活用協力する。

※3 DOORはNTTの商標です。<https://door.ntt>

### <バーチャル空間上での文化観光イメージ>



(スマートフォンの場合)



(パソコンの場合)

### 3. 連携協定締結日 2022年6月20日



NTT西日本  
執行役員東海支店長 安部 真弘

岡崎市  
市長 中根 康浩

一旗  
代表取締役 東山 武明

### 4. 今後の展開

本連携協定で創出された成果については、今後の観光地経営に向けたサービス開発に活用する予定です。

以上

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。

審査 22-S252